

岐阜新聞真学塾

出題 蜚雪ゼミナール

柳津校・寒河江智己



文系科目を指導しています。社会はただ暗記するのではなく楽しく覚えましょう！

問題【社会】

アジア州について、次の各問いに答えなさい。

- (1) 中国の深圳(シェンチェン)や厦門(アモイ)などに置かれた、外国企業を受け入れる地域を何というか。
- (2) 工業化によって急速に成長し、経済活動が活発になった四つの国や地域を何というか。
- (3) 植民地時代に開かれた大農園を何というか。
- (4) タイ、インドネシア、マレーシアなど東南アジアの10カ国が加盟している組織は何か。

豆知識 雑学コラム

アジア州 経済・産業編

今回はアジア州の自然や地形について触れていきましたが、今回は経済や産業について見ていきましょう！

(1)は経済特区(経済特別区)です。中国が外国の資本や技術を導入するために外国の企業に解放した特別地域であり、進出した企業は土地を使用する権利を認められます。また、製品の輸出入の時にかかる関税が免除されたり、企業にかかる税金が安くなったりするなど優遇措置が取られます。経済特区は中国東部(沿岸部)に位置していて工業化が進んでいますが、反対に中国西部(内陸部)は開発が遅れていて、東部と西部で経済格差が広がっています。このことは特に記述問題でよく出るポイントですから、必ず押さえておきましょう！ キーワードは「経済格差」ですよ！なお、中国西部では格差をなくすために西部大開発が行われています。

(2)はアジアNIES(ニーズ)です。NIESは新興工業経済地域(Newly Industrializing Economics)の略で、四つの国や地域というのは韓国・シンガポール・台湾・香港を指します。特に韓国は1970年代に造船や鉄鋼業などの重化学工業、1990年代以降は首都ソウルを中心に携帯電話などのハイテク産業が発達し、経済が急速に発展しました。最近では韓国の企業製のスマートフォンやタブレット端末をよく見かけますね。

(3)はプランテーションです。よく問題文に「植民地」や「大農園」といったキーワードが書かれていますので必ず押さえておきましょう。もとは植民地時代に欧米人によって開かれた大規模な農園で、現地の人々や移民を安い賃金で雇って1種類の商品作物を大量に栽培して輸出していました。近年では現地の人々や国が経営している場合が多く、天然ゴム、コーヒー、油やし、バナナなどの商品作物が栽培されています。前回の記事で紹介したスリランカの茶も同様です。特にアジア州では天然ゴムとコーヒーの栽培が盛んで、テストによく出てきますよ。

(4)は東南アジア諸国連合(ASEAN)です。ASEANは「Association of South-East Asian Nations」の略で、地域における経済成長や政治の安定、社会・文化的発展を促すことなどを目的とした組織です。現在加盟しているのは、タイ・マレーシア・シンガポール・インドネシア・ブルネイ・フィリピン・カンボジア・ベトナム・ラオス・ミャンマーの10カ国で、「ASEANのタマシイ、ブルっとふるえた！ カボチャのべんとう、ライスがうみゃー！」と覚えましょう！(やや無理矢理なところもありますが、先ほど紹介した順番に10カ国が隠れています。カタカナのところがそうです)

前回と今回でアジア州について見ていきましたが、他の地域も面白い所が盛りだくさんです！そこに旅をしているような気分勉強するととっても面白いですよ！！

【解答】

- (1) 経済特区(ASEAN)
- (2) NIES(新興工業経済地域)
- (3) プランテーション
- (4) ASEAN(東南アジア諸国連合)